

物流分野における労働力不足対策アクションプラン 策定に向けた中間整理(骨子)について

平成26年4月に設置した「物流問題調査検討会」において、物流分野における労働力不足対策について検討を重ね、12月1日の第4回検討会にて、「物流分野における労働力不足対策アクションプラン策定に向けた中間整理(骨子)」を公表したところ。

物流問題調査検討会について

- 昨年度末、景気の回復や消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要等により貨物量が増加し、内航、トラック等の輸送能力の不足を懸念する声があがった。
- このような状況を踏まえ、本検討会を立ち上げ、物流の状況の調査及び関係者間の意見交換を行い、対策の検討を行うこととなった。

構成員

座長：物流審議官
メンバー：
総合政策局物流政策課長
土地・建設産業局建設業課長
道路局企画課道路経済調査室長
鉄道局長
鉄道局総務課貨物鉄道政策室長
自動車局長
自動車局貨物課長
海事局長
海事局内航課長
港湾局計画課企画室長
一般社団法人日本物流団体連合会理事長
日本貨物鉄道株式会社専務取締役
公益社団法人全日本トラック協会理事長
日本内航海運組合総連合会理事長

※その他必要に応じてメンバーを追加する。

実施内容

- (1) 輸送能力不足の状況把握
(業界ヒアリング、地方運輸局等からの調査報告等)
- (2) 現状認識に関する関係者間での意見交換
- (3) 輸送能力不足への対応方策の検討

開催実績

第1回	平成26年	4月 4日
第2回		5月12日
第3回		8月 7日
第4回		12月 1日
第5回	平成27年	3月20日(予定)

※第5回で「物流分野における労働力不足対策アクションプラン」をとりまとめ、公表

物流分野における労働力不足対策アクションプラン 策定に向けた中間整理（骨子）

物流分野における労働力不足に対応するためには、短期的な需給ギャップの改善の観点のみならず、今後確実に進む中高年層の退職を踏まえた中長期的観点からの対策を講じる必要がある。こうしたことから、以下の2つの観点から、官民の具体的な施策を総合的にパッケージとして示す。（平成27年度から平成29年度までの3カ年計画）

①就業促進に向けた施策

新卒の若者や転職を希望する他分野の人材へのより積極的なアプローチや、これまで物流分野への就業が少ない女性や高齢者等の労働者層にも就業しやすい魅力的な職場環境作り等により、物流分野への新規就業を促進

②物流の効率化・省力化

大量輸送機関の活用や共同配送といった物流の効率化、省力化などの、少ない人数でも業務を持続可能とするための仕組みの導入

※平成26年度内に最終とりまとめ予定

1. 就業促進に向けた施策

（1）就業環境の改善と定着率の向上

- ①労働者の負担軽減
→荷役に係る商習慣等の見直し 等
- ②キャリアアッププランの提示
→ドライバースキルの見える化 等
- ③働きやすい職場づくり
→女性の活躍の推進のための職場環境の整備促進に向けた指針等の策定・発信
→福利厚生制度の創設・改善に係る支援制度の周知の強化 等

（2）業界イメージの改善

- ①各種媒体を活用した情報発信
→学生・求職者向けホームページの開設
→物流業界インターンシップ・物流業界研究セミナーの開催 等
- ②教育現場との連携
→物流施設見学先の紹介（小・中・高・大学生）
→学校訪問、出前講座 等
- ③業界団体・企業の採用方針の公表
→女性採用者等に係る目標設定・意志公表
- ④物流業界全体のPRのための業種横断的な若手プロジェクトチーム
→若手プロジェクトチームにおける物流業界PRに向けた提案、実行

（3）人材の確保・育成

- ①採用活動の強化
→人材確保に係る支援制度の周知強化 等
- ②技能人材の確保・育成
→内航用練習船による訓練の充実 等

2. 物流の効率化・省力化

（1）大量輸送機関の活用

- ・モーダルシフトの促進
→荷主企業と物流事業者が協力して行うモーダルシフトの取組に対する支援
→モーダルシフトを促進するため必要となる設備導入に対する支援
→エコルールマーク、エコシップマーク等による普及・啓発
→鉄道による国際海上コンテナ輸送の促進

（2）オペレーションの合理化

- ①共同輸配送
→共同輸配送の促進
→過疎地等における新たな輸送システムの構築
- ②走行距離の削減
→宅配便の再配達削減
→国際海上コンテナのラウンドユースの促進 等
- ③走行以外に要する時間の短縮
→コンテナターミナルゲート前渋滞の緩和 等

（3）物流に配慮した建築物の設計・運用

- ・物流に配慮した建築物の設計・運用
→物流に配慮した建築物の設計・運用の促進

（4）輸送能力の向上

- ・トラック車両・船舶の大型化等
→船舶の大型化の促進